

鉛筆デッサンの道具

熊谷美術研究所クマビ

1. スケッチブックと紙
2. 定規
3. はかり棒
4. 鉛筆
5. 練り消しゴム
6. カッターナイフ
7. 消しゴム
8. フキサチーフ



1 「スケッチブックと紙」

スケッチブックには色々な大きさがあります。最初に買うのはF 6号がおすすめです。スケッチブックの大きさは葉書よりも少し大きめのF 0号から、大きいものは木炭紙大と言って新聞紙1ページ分の大きさのものまであります。紙はM画用紙、白象紙、木炭紙、ケント紙、T M Kポスター紙、クレセントボードなどがあります。紙は課題の度に購入するので入学前に購入する必要はありません。

2 「定規」

定規は、画面上で直線を正確に表現する時やカッターで紙を切る時に必要です。風景やで建物のパースを取る時や静物の台や台上に置かれたものの直線を表す時などに使います。

3 「はかり棒」

はかり棒は、眼でデッサンの狂いを探ったり、形を測量する時の補助用具です。比率を比較することで長さをはかったり、斜めの角度をはかるときに使います。

4 「鉛筆」

デッサンで使う鉛筆のメーカーは主に、ステッドラーとユニの2つです。どちらもおすすめですが、最初は、安価なユニがおすすめです。慣れてきたらユニでもワンランク上の黒さをしっかりと出せるハイユニ。淡い調子の綺麗なステッドラーを試すことをおすすめします。

5 「練り消しゴム」

消したり、消しながら描く道具です。強く消しすぎてしまう消しゴムに比べて加減がしやすい点。可塑性に富み、様々な形状に加工することで描き手の様々な要求に答えてくれる点で重宝します。

6 「カッターナイフ」

鉛筆を削る道具です。鉛筆削りは、絵を描き始める前の精神統一に最適です。デッサンで使う時は鉛筆を寝かせて使うために丁度良い加減で木の部分を削ることが大切です。

7 「消しゴム」

練り消しゴムは消す力が弱いので、しっかりと消したい部分は消しゴムを使います。

8 「フィキサチーフ」

描き終わったデッサンに吹き付けるスプレー式の定着液です。

「その他に必要なもの」

ティッシュ、ゴミ箱、カメラ(記録用) デザイン・日本画系の学生はB3パネルとカルトン。油絵・彫刻の学生は木炭紙大のカルトンを購入して下さい。